

歴史的景観保全事業
平成 29 年度事業実績

横浜市都市整備局都市デザイン室

平成 30 年 12 月 21 日

目次

事業の概況

1 歴史的建造物の保全活用

- (1) 歴史的建造物の登録
- (2) 歴史的建造物の認定
- (3) 現状変更行為に対する指導及び助言
- (4) 歴史的建造物の保全契約
- (5) 特定景観形成歴史的建造物
- (6) 歴史的建造物に対する助成
- (7) 歴史的景観保全委員
- (8) 文化財等の活用に関する検討

2 「歴史を生かしたまちづくり」に関する普及啓発

- (1) ふるさと納税（横浜サポーターズ寄附金）「歴史的景観保全活用事業」の広報
- (2) 広報紙等の発行
- (3) 歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催
- (4) 区や市民団体、歴史的建造物所有者との連携によるイベントの開催
- (5) その他のメディアによる普及啓発
- (6) サイン等の整備

3 その他

- (1) 歴史を生かしたまちづくり相談室の運営
- (2) 関連団体等
- (3) 横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）「歴史的景観保全活用事業」の運用
- (4) 新たな制度検討

<添付資料>

- ・ 横浜市認定歴史的建造物一覧表
- ・ 横浜市登録歴史的建造物保全契約一覧表
- ・ 横浜市指定特定景観形成歴史的建造物一覧表
- ・ 第14期 横浜市歴史的景観保全委員名簿
- ・ 歴史を生かしたまちづくりセミナー開催実績
- ・ 歴史的景観保全事業 事業費の推移

<事業の概況>

横浜には、都心臨海部を中心に、開港以来の近代建築や西洋館、土木産業遺構が残されており、郊外部には、農村の風情を伝える古民家や社寺が残されています。これらの歴史的資産を再評価し、まちづくりの資源として位置付け、保全活用を積極的に行っています。

昭和 63 年度に施行した「歴史を生かしたまちづくり要綱」に基づき、景観的に価値の高い歴史的建造物を「登録」し、そのうち、特に重要なもので、将来の保全活用計画について所有者の同意が得られたものを「認定」しています。

この要綱は、歴史的景観の保全を目的としており、外観を保全する代わりに、内部は使いやすいように改修することができ、凍結的な保存より、現役で長く使い続けてもらうことを狙いとしています。

平成 29 年度は、神奈川区白楽にある「旧市原重治郎邸」及び都筑区川和町にある「中山恒三郎家店蔵及び書院」を新たに認定し、平成 30 年 3 月末で、「登録」は 206 件、そのうち「認定」は 94 件となりました。

認定歴史的建造物になると、外観保全、耐震改修（構造補強）や維持管理の費用が助成の対象となります。平成 29 年度は、馬車道大津ビル（旧東京海上火災保険ビル）（平成 12 年度認定）の外観保全工事などの費用の一部を助成しました。

また、平成 28 年度に創設した、横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）を運用し、45 件、約 100 万円のご寄附をいただき、歴史的建造物サインの再整備に活用しました。

大口の寄附はありませんでしたが、寄附件数は増えており、少しずつ歴史を生かしたまちづくりを支える輪が広がっています。

1 歴史的建造物の保全活用

(1) 歴史的建造物の登録

歴史を生かしたまちづくり要綱（第4条）に基づき景観上価値がある歴史的建造物を登録しています。平成28年度末までに206件の歴史的建造物を登録しました。

平成29年度に登録した歴史的建造物はありません。

<登録歴史的建造物総括表>

種 別	～平成28年度	平成29年度	合 計
社 寺	23件	-	23件
古 民 家	29件	-	29件
近代建築(除:西洋館)	54件	-	54件
西 洋 館	38件	-	38件
近代和風建築	6件	-	6件
土木産業遺構	55件	-	55件
近現代建築物	1件	-	1件
合 計	206件	0件	206件

(2) 歴史的建造物の認定

登録歴史的建造物のうち特に重要な価値を有する歴史的建造物について、歴史を生かしたまちづくり要綱（第10条）に基づき認定しています。平成28年度末までに92件の歴史的建造物を認定しました。

平成29年度は、神奈川区白楽にある旧市原重治郎邸、都筑区川和町にある中山恒三郎家店蔵及び書院を新たに認定しました。

<認定歴史的建造物総括表>

種 別	～平成28年度	平成29年度	合 計
社 寺	0件	-	0件
古 民 家	14件	1件	15件
近代建築(除:西洋館)	32件	-	32件
西 洋 館	22件	-	22件
近代和風建築	0件	1件	1件
土木産業遺構	24件	-	24件
近現代建築物	0件	-	0件
合 計	92件	2件	94件

(3) 現状変更行為に対する指導及び助言

歴史を生かしたまちづくり要綱（第7条・第15条）に基づき歴史的建造物の現状変更行為に対する指導及び助言を行ないます。

平成29年度は、登録又は認定歴史的建造物の改修等の現状を変更しようとする行為について、個別に指導及び助言を行ない、7件の現状変更行為通知書又は届出書が提出されました。

(4) 歴史的建造物の保全契約

歴史を生かしたまちづくり要綱（第9条）に基づき登録歴史的建造物の保全活用について所有者と保全解約を締結しています。

平成28年度末までに2件（「横浜海洋会館」「ジャパンエクスプレスビル」）の保全契約を締結しています。

平成29年度に新規に保全契約を締結した歴史的建造物はありません。

(5) 特定景観形成歴史的建造物

「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例」（第14条の2）に基づき特定景観形成歴史的建造物の指定を行いません。特定景観形成歴史的建造物に指定されると建築審査会の同意を得て建築基準法の適用除外とすることが可能となります（建築基準法第3条第1項第3号）。

平成28年度末までに2件（「旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）」「旧藤本家住宅主屋及び東屋」）を指定しました。

平成29年度に新規に指定した歴史的建造物はありません。

(6) 歴史的建造物に対する助成

歴史を生かしたまちづくり要綱（第21条）に基づき歴史的建造物の保全活用に関する改修、維持管理等に対して助成を行いません。

平成29年度は、外観保全1件、維持管理30件に対する助成を行いました。

なお、馬車道大津ビルの外観保全工事には集約促進景観・歴史的風致形成推進事業補助金（国補助）を充当しています。

<平成29年度外観保全等助成対象事業>

- ・ 馬車道大津ビル（旧東京海上火災保険ビル）：外観保全工事

(7) 歴史的景観保全委員

歴史を生かしたまちづくり要綱（第22条）に基づき、専門家の意見を取り入れ、歴史的景観の保全と活用を図るため歴史的景観保全委員を置いています。

平成29年度は13名の委員を置き、連絡調整会議を2回（5月29日・12月22日）開催し歴史を生かしたまちづくりに関する意見の聴取を行いません。また、個別の歴史的建造物の保全活用についても各担当委員から意見聴取を行いました。

(8) 文化財等の活用に関する検討

国指定文化財、市指定文化財及び登録文化財等の活用検討や保全に関する技術的支援を行いません。

平成29年度は、旧長濱検疫所一号停留所（金沢区・国登録文化財）、金澤園（金沢区・国登録文化財）、旧横浜生糸検査所附属倉庫事務所、西谷浄水場ろ過池整水室上屋・西谷浄水場配水池（保土ヶ谷区・国登録文化財）の保全及び活用に関する技術的支援を行いません。

2 「歴史を生かしたまちづくり」に関する普及啓発

- (1) **横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）「歴史的景観保全活用事業」の広報**
ちらしを作成し各区役所へ配架したほか、横浜駅構内へのポスター掲出、区民まつり等での広報を実施しました。

(2) **広報紙等の発行**

歴史を生かしたまちづくり横濱新聞など歴史を生かしたまちづくりに関する市民向けの広報紙を発行しています。

<平成 29 年度新規広報物発行実績>

- ・ 歴史を生かしたまちづくり横濱新聞 第 33 号（平成 29 年 11 月 30 日発行）
- ・ 都市の記憶 横浜の近代建築（I）復刻版（平成 29 年 9 月発行）

(3) **歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催**

歴史を生かしたまちづくりに関する市民向けのセミナーを開催します。

平成 29 年度は「第 40 回歴史を生かしたまちづくりセミナー 震災復興橋梁 in 大岡川」と題し、9 月 9 日に黄金町高架下スタジオ s i t e - D ほかで開催し、約 60 人の参加がありました。

(4) **区や市民団体、歴史的建造物所有者との連携によるイベントの開催**

歴史を生かしたまちづくりに関するイベントを区や市民団体と連携し実施します。

<平成 29 年度後援等実績>

- ・ 『その他条例』を中心とした歴史的建造物の利活用に係る研究会（後援）
- ・ ヨコハマ洋館探偵団第 30 回シリーズ講座（後援）
- ・ 平成 29 年度かながわヘリテージマネージャースキルアップ講座（後援）
- ・ 第 5 回かながわヘリテージマネージャー大会（後援）
- ・ ヨコハマヘリテイジ・セミナー2018～光り輝く近現代歴史的建造物は宝～（後援）

(5) **その他のメディアによる普及啓発**

- ・ 神奈川新聞 朝刊 1 面「横浜の歴史的建造物 ^{レガシー} 都市の記憶」連続掲載（平成 29 年 2 月から 6 月まで）
- ・ 文化放送 横浜流儀 ～ハマ・スタイル～ 第 189 回
テーマ「歴史を生かしたまちづくり」（平成 29 年 11 月 11 日）

(6) **サイン等の整備**

認定歴史的建造物の表示や街路での歴史的建造物案内サインの整備等を行なっています。

平成 29 度は横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）を充当し「赤レンガ倉庫」の路上解説サインを更新しました。

3 その他

(1) 歴史を生かしたまちづくり相談室の運営

歴史的建造物所有者支援の一環として公益社団法人横浜歴史資産調査会と連携し「歴史を生かしたまちづくり相談室」を運営しています。

<歴史を生かしたまちづくり相談室概要>

- ・ 連絡先：公益社団法人横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）内「歴史を生かしたまちづくり相談室」係
- ・ 電話：045-651-1730
※毎週水曜日 午前10時から午後3時まで（年末・年始・祝日を除く）
- ・ F A X 045-651-1730（随時）
- ・ Eメール yh-info@yokohama-heritage.or.jp（随時）
- ・ 郵送：〒231-0012 横浜市中区相生町3-61 泰生ビル405号室（随時）

(2) 関連団体等

公益社団法人横浜歴史資産調査会と基本協定（平成27～31年度）及び実施協定を締結し、歴史を生かしたまちづくりに関する取組を推進しています。

また、歴史的景観都市連絡協議会に加盟し情報交換等を行なっています。

(3) 横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）「歴史的景観保全活用事業」の運用

平成28年度から、横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）「歴史的景観保全活用事業」の運用を開始しました。

<ふるさと納税実績（平成30年3月31日現在）>

金額：968,000円

件数：45件（個人45件、法人0件）

(4) 新たな制度検討

平成25年11月に策定した「『歴史を生かしたまちづくり』の推進について」等に基づき、個別の施策について歴史を生かしたまちづくりに関する制度について検討しています。

これまでに「歴史を生かしたまちづくり相談室」の設置及び運営、歴史的建造物のリノベーション工事助成制度に対する中間支援制度の創設など、個別の施策に関する歴史を生かしたまちづくりに関する制度について検討してきました。

平成29年度は戦後建造物の認定基準等の検討のため、歴史的景観保全委員へのインタビューを実施し、歴史的建造物の評価の考え方について整理を進めてきました。

横浜市認定歴史的建造物一覧表

平成 30 年 3 月末現在

94 件

	名 称	種 別	所在地	認定時期
1	損保ジャパン日本興亜横浜馬車道ビル	近代建築	中 区	昭和 63(1988)年度
2	横浜指路教会	近代建築	中 区	昭和 63(1988)年度
3	カトリック山手教会聖堂	近代建築	中 区	昭和 63(1988)年度
4	旧横浜船渠第 2 号ドック	土木産業遺構	西 区	平成元(1989)年度
5	横浜海岸教会	近代建築	中 区	平成元(1989)年度
6	横浜山手聖公会	近代建築	中 区	平成元(1989)年度
7	岩田健夫邸	西洋館	中 区	平成元(1989)年度
8	横浜第 2 合同庁舎(旧生糸検査所)	近代建築	中 区	平成 2(1990)年度
9	旧澤野家長屋門	古民家	鶴見区	平成 2(1990)年度
10	石橋邸	西洋館	中 区	平成 3(1991)年度
11	藤本家住宅旧主屋	古民家	鶴見区	平成 3(1991)年度
12	関東学院中学校	近代建築	南 区	平成 3(1991)年度
13	ホテルニューグランド本館	近代建築	中 区	平成 4(1992)年度
14	綜通横浜ビル(旧本町旭ビル)	近代建築	中 区	平成 5(1993)年度
15	旧東伏見邦英伯爵別邸	近代建築	磯子区	平成 5(1993)年度
16	松原邸	西洋館	中 区	平成 6(1994)年度
17	宇田川邸	西洋館	中 区	平成 6(1994)年度
18	BEATTY 邸(ビーティ邸)	西洋館	中 区	平成 6(1994)年度
19	エリスマン邸	西洋館	中 区	平成 6(1994)年度
20	ブラフ 18 番館	西洋館	中 区	平成 6(1994)年度
21	中澤高枝邸	西洋館	港北区	平成 6(1994)年度
22	カトリック横浜司教館別館	西洋館	中 区	平成 6(1994)年度
23	カトリック横浜司教館(旧相馬永胤邸)	西洋館	中 区	平成 7(1995)年度
24	旧安西家住宅主屋	古民家	瀬谷区	平成 7(1995)年度
25	旧大岡家長屋門	古民家	瀬谷区	平成 7(1995)年度
26	旧金子家住宅主屋	古民家	戸塚区	平成 7(1995)年度
27	旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)	古民家	金沢区	平成 8(1996)年度
28	新川家住宅主屋	古民家	旭 区	平成 8(1996)年度
29	旧臨港線護岸	土木産業遺構	中 区	平成 8(1996)年度
30	港一号橋梁	土木産業遺構	西 区	平成 8(1996)年度
31	港二号橋梁	土木産業遺構	中 区	平成 8(1996)年度
32	港三号橋梁(旧大岡川橋梁)	土木産業遺構	中 区	平成 8(1996)年度
33	長浜ホール(横浜検疫所長浜措置場旧細菌検査室、横浜検疫所長浜措置場旧事務棟)	近代建築	金沢区	平成 9(1997)年度
34	旧清水製糸場本館(天王森泉館)	古民家	泉 区	平成 9(1997)年度

	名 称	種 別	所在地	認定時期
35	横浜情報文化センター（旧横浜商工奨励館）	近代建築	中 区	平成 10(1998)年度
36	岡田邸	西洋館	中 区	平成 10(1998)年度
37	横浜地方・簡易裁判所（旧横浜地方裁判所）	近代建築	中 区	平成 10(1998)年度
38	山手資料館	西洋館	中 区	平成 11(1999)年度
39	山手234番館	西洋館	中 区	平成 11(1999)年度
40	せせらぎ公園古民家(旧内野家住宅主屋)	古民家	都筑区	平成 12(2000)年度
41	東隧道	土木産業遺構	保土ヶ谷区	平成 12(2000)年度
42	大原隧道	土木産業遺構	南 区	平成 12(2000)年度
43	浦舟水道橋	土木産業遺構	南 区	平成 12(2000)年度
44	馬車道大津ビル(旧東京海上火災保険ビル)	近代建築	中 区	平成 12(2000)年度
45	旧新井家住宅主屋(八巻家)	古民家	中 区	平成 12(2000)年度
46	旧横浜市外電話局	近代建築	中 区	平成 12(2000)年度
47	横浜税関	近代建築	中 区	平成 12(2000)年度
48	旧英国七番館(戸田平和記念館)	近代建築	中 区	平成 12(2000)年度
49	ペーリック・ホール	西洋館	中 区	平成 13(2001)年度
50	山手76番館	西洋館	中 区	平成 13(2001)年度
51	中丸家長屋門	古民家	泉 区	平成 13(2001)年度
52	響橋	土木産業遺構	鶴見区	平成 13(2001)年度
53	昇龍橋	土木産業遺構	栄 区	平成 13(2001)年度
54	山手隧道	土木産業遺構	中 区	平成 13(2001)年度
55	赤レンガ倉庫	近代建築	中 区	平成 13(2001)年度
56	日産自動車株式会社横浜工場 1号館（旧本社ビル）	近代建築	神奈川区	平成 14(2002)年度
57	旧奥津家長屋門並びに土蔵	古民家	緑 区	平成 14(2002)年度
58	新港橋梁	土木産業遺構	中 区	平成 14(2002)年度
59	旧東京三菱銀行横浜中央支店	近代建築	中 区	平成 15(2003)年度
60	旧富士銀行横浜支店（元安田銀行横浜支店）	近代建築	中 区	平成 15(2003)年度
61	旧横浜銀行本店別館（元第一銀行横浜支店）	近代建築	中 区	平成 15(2003)年度
62	伊東医院	近代建築	戸塚区	平成 15(2003)年度
63	旧ウィトリッヒ邸	西洋館	戸塚区	平成 15(2003)年度
64	旧居留地消防隊地下貯水槽	土木産業遺構	中 区	平成 15(2003)年度
65	打越橋	土木産業遺構	中 区	平成 15(2003)年度
66	旧横浜松坂屋西館	近代建築	中 区	平成 16(2004)年度
67	桜道橋	土木産業遺構	中 区	平成 16(2004)年度
68	霞橋	土木産業遺構	西区・南区	平成 16(2004)年度
69	インド水塔	近代建築	中 区	平成 17(2005)年度
70	谷戸橋	土木産業遺構	中 区	平成 17(2005)年度
71	西之橋	土木産業遺構	中 区	平成 17(2005)年度

	名 称	種 別	所在地	認定時期
72	旧バーナード邸	西洋館	中 区	平成 18(2006)年度
73	山手 8 9 - 8 番館	西洋館	中 区	平成 18(2006)年度
74	旧平沼専蔵別邸亀甲積擁壁及び煉瓦塀	土木産業遺構	西 区	平成 18(2006)年度
75	二代目横浜駅基礎等遺構(第二代横浜駅駅舎基礎遺構および横浜共同電燈会社裏高島発電所遺構)	土木産業遺構	西 区	平成 18(2006)年度
76	フェリス女学院 10 号館(旧ライジングサン石油会社社宅)	近代建築	中 区	平成 19(2007)年度
77	ストロングビル	近代建築	中 区	平成 19(2007)年度
78	旧灯台寮護岸	土木産業遺構	中 区	平成 20(2008)年度
79	横浜税関遺構 鉄軌道及び転車台	土木産業遺構	中 区	平成 21(2009)年度
80	インペリアルビル	近代建築	中 区	平成 22(2010)年度
81	慶應義塾大学(日吉)寄宿舎(南寮及び浴場棟)	近代建築	港北区	平成 23(2011)年度
82	井伊直弼像台座及び水泉	土木産業遺構	西 区	平成 23(2011)年度
83	フェリス女学院6号館別館	西洋館	中 区	平成 24(2012)年度
84	河合邸	西洋館	中 区	平成 24(2012)年度
85	旧神奈川県産業組合館	近代建築	中 区	平成 24(2012)年度
86	旧神奈川県労働基準局(元日本綿花横浜支店倉庫)	近代建築	中 区	平成 25(2013)年度
87	山手 26 番館	西洋館	中 区	平成 25(2013)年度
88	霞橋(旧江ヶ崎跨線橋)	土木産業遺構	中 区	平成 25(2013)年度
89	旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用 B 号倉庫及び C 号倉庫	近代建築	中 区	平成 25(2013)年度
90	鈴木家長屋門	古民家	旭 区	平成 26(2014)年度
91	田邊家住宅(日吉の森庭園美術館)	古民家	港北区	平成 27(2015)年度
92	俣野別邸	西洋館	戸塚区	平成 28(2016)年度
93	旧市原重治郎邸	近代和風建築	神奈川区	平成 29(2017)年度
94	中山恒三郎家店蔵及び書院	古民家	都筑区	平成 29(2017)年度

横浜市登録歴史的建造物保全契約一覧表

平成 30 年 3 月末現在
2 件

	名 称	種 別	所在地	契約期間
1	横浜海洋会館	近代建築	中区	平成 22 年 3 月 31 日～ 平成 32 年 3 月 30 日
2	ジャパンエクスプレスビル	近代建築	中区	平成 26 年 5 月 7 日～ 平成 36 年 5 月 6 日

横浜市指定特定景観形成歴史的建造物一覧表

平成 30 年 3 月末現在
2 件

	名 称	種 別	所在地	指定時期
1	旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）	古民家	金沢区	平成 27 (2015) 年度
2	旧藤本家住宅主屋及び東屋	古民家	鶴見区	平成 28 (2016) 年度

第 14 期 横浜市歴史的景観保全委員

(五十音順、敬称略)

	氏 名	現 職 等
1	青木 祐介	横浜市ふるさと歴史財団 横浜都市発展記念館 副館長 (有識者)
2	内田 青蔵	神奈川大学 教授 (専門: 建築史)
3	大野 敏	横浜国立大学大学院 教授 (専門: 日本建築史・保全修復)
4	小澤 美那	榊勝烈庵 山手資料館 館長 (歴史的建造物保全活動者)
5	黒田 泰介	関東学院大学 教授 (専門: 建築史)
6	後藤 治	工学院大学 教授 (専門: 都市計画・建築史)
7	志澤 政勝	帆船日本丸記念財団 理事/横浜みなと博物館 館長 (有識者)
8	嶋田 昌子	NPO 法人横浜シティガイド協会 理事 (有識者)
9	関 和明	関東学院大学 教授 (専門: 建築史、西洋館)
10	中藤 誠二	関東学院大学 准教授 (専門: 土木工学)
11	水沼 淑子	関東学院大学 教授 (専門: 住宅・生活文化)
12	宮 晶子	建築事務所 STUDIO 2A 代表 (有識者・建築家)
13	吉田 鋼市	横浜国立大学 名誉教授 (専門: 建築史、近代建築)

※任期 平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

歴史を生かしたまちづくりセミナー開催実績

平成 30 年 3 月末現在

回	開催年月日	テーマ
1	平成元年 3 月 18 日	港周辺の近代建築
2	平成元年 8 月 26 日	ウォーターフロントの歴史的遺産
3	平成元年 10 月 12 日	歴史的環境を生かした都市の再生
4	平成 2 年 3 月 31 日	絹の道 ～市民ネットワーク
5	平成 2 年 12 月 1 日	横濱山手の西洋館
6	平成 3 年 3 月 16 日	茅葺き民家とそのくらし
7	平成 3 月 11 月 16 日	歴史的資産の保全と活用 ー内外の事例に学ぶー
8	平成 4 年 2 月 15 日	横浜洋家具展
9	平成 4 年 5 月 16 日	歴史的建造物の保全と活用 ーその制度を考えるー
10	平成 5 年 11 月 23 日	日本の近代化を支えた横浜の銀行建築 ー銀行建築を考えるー
11	平成 6 年 1 月 29 日	まちなみを文化に昇華する ー歴史的文化的資産を生かしたまちづくりの方法論 ＝英国・横浜＝
12	平成 7 年 2 月 25 日	都市の記憶を描く！ ー歴史的建造物の見方・描き方ー
13	平成 7 年 11 月 25 日	産業遺産の保存と活用を考えるシンポジウム
14	平成 8 年 2 月 10 日	歴史ある民家や洋館に楽しく住まう
15	平成 8 年 6 月 25 日	来て・見て・感じて！ ー西洋館の移築復元ー
16	平成 9 年 6 月 19 日	ようこそ外交官の家へ ー国の重要文化財「旧内田家住宅」見学会ー
17	平成 10 年 3 月 7 日	横浜の鉄道ものがたり
18	平成 10 年 7 月 18 日	都市の記憶を描く ー関内・山手歴史的建造物絵画展ー（～8 月 16 日）
19	平成 11 年 12 月 4 日	緑の中の歴史的建造物を訪ねよう！ ー横浜南部編ー ～バスで巡る近代建築・古民家見学ツアー～
20	平成 12 年 3 月 19 日	絵画で感じる横浜の歴史 ～親子で描こう山手の西洋館・歴史的建造物絵画展～
21	平成 13 年 1 月 27 日	新春 ファミリー・ウォークラリー ～ぶらり訪ねる金澤・称名寺と駅前の歴史的建造物～
22	平成 13 年 3 月 4 日	建築探偵、横濱に来る！ ～藤森照信氏が語るハマの歴史的建造物の魅力～
23	平成 13 年 11 月 10 日	丘の上の学舎をめぐる～南区の歴史的建造物
24	平成 14 年 3 月 3 日	港ヨコハマの知られざる魅力 ～土木遺産編～
25	平成 14 年 12 月 15 日	港ヨコハマの移りかわりと行き交う人々 ～絵から読み解く港ヨコハマ～
26	平成 15 年 12 月 13 日	京浜工業地帯と日本自動車産業の成立
27	平成 16 年 3 月 20 日	関内周辺でくてくウォッチング ～歴史的建造物の魅力再発見!!～
28	平成 16 年 9 月 18 日	横浜・谷戸の住まいとくらし ～旧奥津家見学と周辺散策～
29	平成 18 年 3 月 11 日	様式から見た近代建築 ～関内周辺近代建築散策～
30	平成 19 年 3 月 10 日	横浜三塔物語
31	平成 20 年 3 月 8 日	アントニン・レーモンド生誕 120 周年記念 建築家アントニン・レーモンドを知る
32	平成 22 年 3 月 20 日	金沢八景と明治の別荘文化 ～旧伊藤博文金沢別邸～
33	平成 23 年 11 月 6 日	近代建築の見方、楽しみ方
34	平成 24 年 12 月 8 日	日吉の近代建築
35	平成 25 年 11 月 10 日	歴史を生かしたまちづくり 25 周年 記念講演・シンポジウム

回	開催年月日	テーマ
36	平成 26 年 6 月 9 日	明日の歴史を生かしたまちづくり
37	平成 27 年 2 月 21 日	今を生きる古民家の保存と活用～保存と活用について、全国の事例に学ぶ～
38	平成 27 年 6 月 24 日	みんなで支える明日の「歴史を生かしたまちづくり」
39	平成 28 年 7 月 16 日	石の記憶
40	平成 29 年 9 月 9 日	震災復興橋梁 in 大岡川

歴史的景観保全事業 事業費の推移

(千円)

年度	予算		決算	
	事業費	市債＋一般財源	事業費	市債＋一般財源
平成 17 年度	22,000	22,000	35,615	28,019
平成 18 年度	74,000	74,000	41,507	40,707
平成 19 年度	67,500	62,300	68,867	62,617
平成 20 年度	68,000	48,000	94,370	62,370
平成 21 年度	76,300	52,300	76,098	42,098
平成 22 年度	48,900	7,070	45,496	4,078
平成 23 年度	62,550	15,430	61,124	15,414
平成 24 年度	80,820	80,820	80,356	80,356
平成 25 年度	70,595	70,595	39,718	39,718
平成 26 年度	65,080	65,080	77,074	77,074
平成 27 年度	36,950	36,950	36,044	36,044
平成 28 年度	42,045	32,045	33,710	28,019
平成 29 年度	57,110	41,110	38,130	31,735
平成 30 年度	54,999	41,999	-	-

歴史的景観保全活用事業 横浜サポーターズ寄附金(ふるさと納税)

寄附額の推移

年度	企業・団体		個人		計	
	件数	寄附額(円)	件数	寄附額(円)	件数	寄附額(円)
平成 28 年度	1	2,000,000	31	3,658,000	32	5,658,000
平成 29 年度	0	-	45	968,000	45	968,000